

# 令和4年度授業改善推進プラン（調査結果分析シート）

西東京市立谷戸小学校

## ●全国学力学習状況調査(小学校第6学年・中学校第3学年)

	課題が見られた問題の概要	正答率	調査結果を踏まえた成果	調査結果を踏まえた課題
国語	谷原さんの発言の理由として適切なものを選択する	76.7	学習指導要領の内容において、「A. 話すこと・聞くこと」「C. 読むこと」の正答率が、都および全国の正答率を上回った。特に、登場人物の行動や気持ちなどについて、叙述を基に捉える力、互いの立場や意図を明確にしながら、計画的に話し合い、自分の考えをまとめる力がついていることがわかった。	学習指導要領の内容において、「B. 書くこと」の領域の正答率が、他の領域の正答率と比較すると著しく低いことがわかった。文章に対する感想や意見を自分の言葉で表すことや、学年別に配当された漢字学習の定着を確実に図る必要がある。
	谷原さんや中村さんの発言の理由として適切なものを選択する	62.8		
	□に入る内容として適切なものを選択する	58.1		
	漢字を使って書き直す	44.2		
算数・数学	飲み物の量の求め方と答えを書く	37.2	分類整理されたデータを基に、目的に応じたデータの特徴を捉える問題及び正三角形の意味や性質を基に、回転の大きさとしての角の大きさに着目し、正三角形の構成の仕方について考察する問題において、都や全国の正答率を大きく上回る結果となったことから、データを活用する力や既習学習を基にして、思考・判断する力が高まったと考えられる。	学習指導要領の領域において、「C. 変化と関係」および「B. 図形」の正答率が著しく低いことがわかった。このことから、比例の関係をを用いて未知の数量を求める力と、図形を構成する要素に着目して、それぞれの図形の意味や性質、構成に仕方についての理解が不十分であることがわかった。
	ポイント数の求め方と答えを書く	62.8		
	長方形のプログラムについて、向かい合う辺の長さを書く	74.4		
	示されたプログラムで書くことができる図形を選ぶ	51.2		